



# 田辺三菱製薬株式会社

## 2009年度 決算説明会

2010.5.14

於:LEVEL XXI 東京會館

代表取締役社長  
土屋裕弘



# 2009年度 決算概要

(平成22年3月期)

# 2009年度 決算概況

(2009年4月～2010年3月)



	2008年度	2009年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,148	4,047	-100	-2.4	4,080	99.2
売上原価	1,582	1,478	-104	-6.6	1,485	99.5
売上原価率	38.1%	36.5%			36.4%	
販管費	1,849	1,955	+106	+5.7	1,960	99.7
営業利益	717	615	-102	-14.3	635	96.8
経常利益	726	616	-109	-15.1	635	97.1
当期純利益	265	303	+37	+14.0	325	93.1

公表見込：2009年10月29日 第2四半期決算発表時に公表した2009年度予想値

# 事業別売上高

【2009年度 決算概況】



	2008年度	2009年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
<b>売上高</b>	4,148	4,047	-100	-2.4	4,080	99.2
(うち海外売上)	(352)	(269)	(-83)	(-23.7)	(275)	(97.7)
<b>医薬品事業</b>	3,872	3,957	+85	+2.2	3,981	99.4
国内医療用医薬品	3,354	3,546	+192	+5.7	3,563	99.5
海外医療用医薬品	253	228	-24	-9.6	235	97.1
一般用医薬品	53	50	-3	-5.8	51	97.5
その他	212	133	-79	-37.3	132	101.1
<b>その他事業</b>	275	90	-185	-67.3	99	91.0

# 国内医療用医薬品 主要製品売上高

【2009年度 決算概況】



	2008年度		2009年度		増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	3,354	3,546	+192	+5.7	3,563	99.5		
レミケード	374	472	+98	+26.2	468	100.8		
ラジカット	281	280	-1	-0.3	278	100.6		
アンプラーグ	185	184	-1	-0.5	189	97.1		
ウルソ	162	163	+1	+0.5	166	98.0		
タナトリル	119	111	-8	-6.5	112	99.2		
タリオン	104	106	+2	+2.3	122	87.0		
セレジスト	162	169	+7	+4.0	170	99.5		
デパス	118	116	-2	-1.9	118	98.1		
メインテート	102	110	+8	+7.8	110	100.4		
ヘルベッサー	119	108	-11	-9.2	111	97.5		
ワクチン(注)	215	230	+15	+6.9	232	98.9		
(ミールビック)	(118)	(118)	(-1)	(-0.4)	(125)	(94.4)		
(インフルエンザ)	(67)	(64)	(-3)	(-4.9)	(65)	(97.9)		
新型インフルワクチン	-	88	88	-	非開示	-		

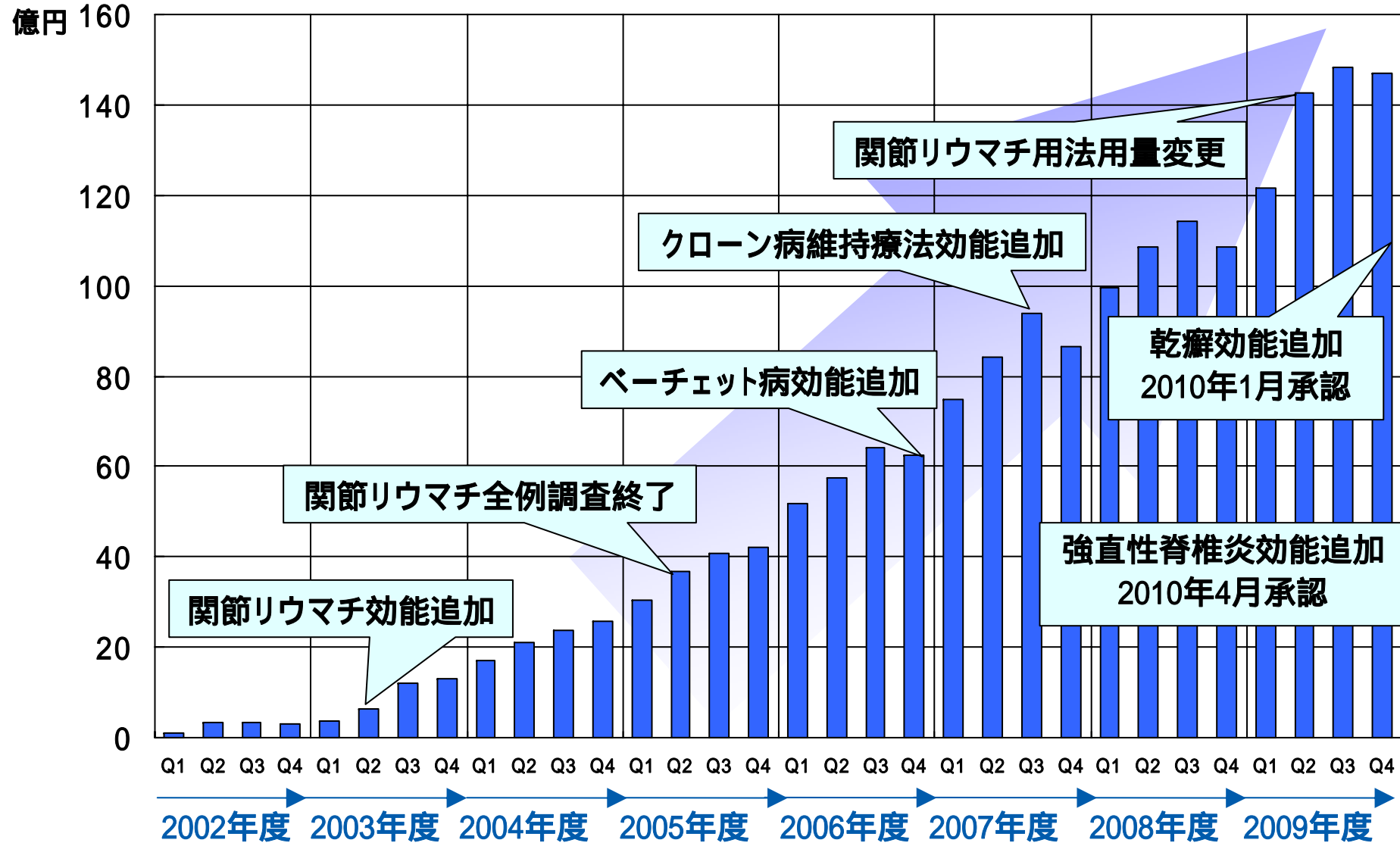
(注) 新型インフルエンザワクチンを除く

# レミケード®の売上推移(薬価ベース)



【2009年度 決算概況】

田辺三菱製薬



# 売上原価・販管費

【2009年度 決算概況】



	2008年度	2009年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	4,148	4,047	-100	-2.4	4,080	99.2
売上原価	1,582	1,478	-104	-6.6	1,485	99.5
売上原価率	38.1%	36.5%			36.4%	
販管費	1,849	1,955	+106	+5.7	1,960	99.7
研究開発費	731	831	+100	+13.6	840	98.9
人件費	500	530	+30	+6.0	523	101.4
販売促進費	117	120	+3	+2.4	116	103.1
のれん償却額	101	101	+1	+0.8	101	100.4
その他	400	373	-27	-6.8	380	98.1
営業利益	717	615	-102	-14.3	635	96.8

# 営業外損益・特別損益



【2009年度 決算概況】

田辺三菱製薬

	2008年度	2009年度	増減		公表見込	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	717	615	-102	-14.3	635	96.8
営業外損益	9	2	-7	-80.4		
経常利益	726	616	-109	-15.1	635	97.1
特別利益	12	1	-11	-92.9	1	85.0
特別損失	258	108	-150	-58.3	81	132.8
事業休止関連損失	-	33	+33			
HCV訴訟損失引当金繰入額	88	30	-58			
減損損失	34	18	-15			
構造改革費用	3	16	+12			
当期純利益	265	303	+37	+14.0	325	93.1





# 2010年度 業績予想

(平成23年3月期)

# 2010年度業績予想



【2010年度業績予想】

田辺三菱製薬

	2009年度	2010年度	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	4,047	3,800	-247	-6.1
営業利益	615	550	-65	-10.5
経常利益	616	550	-66	-10.8
当期純利益	303	270	-33	-10.8

2010年度は、本年4月に実施された薬価改定の影響に加え、今般のメドウェイに関する一連の問題による行政処分の影響を受け、厳しい状況となることが予想されます。今年度の業績については、不透明な要素もありますが、現時点では大幅な減収減益を予想しております。

なお、行政処分の影響により、特に年度前半の見通しについて不確定要素が大きいため、現時点では事業別売上高、売上原価、販売費及び一般管理費、主要製品売上高等の予想、および上期業績予想の開示を控えさせていただきます。今後、速やかに情報収集に努め、業績への影響を精査した上で、改めて開示させていただきます。

# 株主還元



【2010年度 業績予想】

- 連結配当性向35% (のれん償却前利益ベース)を目標とする
- 長期的にはより積極的な株主還元を目指す

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 (予想)
年間配当金	26円	28円	28円	28円
配当性向	44.0%	43.0%	39.0%	42.4%

2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金と田辺三菱製薬の期末配当金を用いております。  
また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額を除いた利益と期末配当額から算出しております。

2008年度以降の配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。



# 2010年度 重点課題

当社グループは、今般のメドウェイに関する一連の問題を深く反省し、社会からの信頼回復をめざし、以下の経営課題に最優先で取り組む。

1. 当社グループの「企業行動憲章」に基づく行動の再徹底
2. 生命関連企業としての医薬品の安全性・品質確保の徹底
3. 当社グループ一体としての内部統制の強化
4. 職業倫理とコンプライアンス意識の向上

# 業務改善・再発防止への取り組み



## ■ 業務改善計画の策定と実践

- ✓ 昨年4月に社内に「メドウェイ問題対策委員会」を設置し、事実調査と原因究明を行うと共に、バイファ社の組織の刷新や改善措置の推進に取り組んできた。
- ✓ 昨年9月に社外有識者による「メドウェイ問題社外調査委員会」を設置し、問題の原因と背景の究明および再発防止策の検討と提言に向けた調査を実施いただき、本年4月に報告書を受領した。
- ✓ 現在、上記是正措置や再発防止策、および社外調査委員会の提言に対する具体的な施策等を盛り込んだ業務改善計画の策定に取り組んでいる。
- ✓ 社長直轄の組織として、メドウェイ問題対策室を新設し、改善計画の推進や進捗管理を行い、業務改善を着実に実行する。

当社グループ全社をあげて、生命関連企業としての「安全性と品質の確保」の観点から業務の再点検を実施し、社外調査委員会の提言も踏まえ、業務改善と再発防止に最優先で取り組んでまいります。

こうした取り組みを継続・徹底することにより、製薬企業として社会からの信頼の回復に努めてまいります。

# 主な開発プロジェクトの進捗状況



## 海外開発

- MCI-196 (高リン血症) 米欧:フェーズ3 (2010年度申請予定)
- MP-146 (慢性腎臓病) 米欧:フェーズ3 (2011年度申請予定)
- MT-2832 (二次性副甲状腺機能亢進症) 米・カナダ:フェーズ2
- MP-513 (2型糖尿病) 欧州:フェーズ2

## 国内開発

- MP-424 (C型慢性肝炎) フェーズ3 (2011年申請予定)
- MP-513 (2型糖尿病) フェーズ3
- TA-7284 (糖尿病) フェーズ2
- FTY720 (多発性硬化症) フェーズ2 (2010年申請予定)  
(ノバルティスファーマと共同開発)

現在進行中のフェーズ2試験で想定通りの結果が得られれば、2010年内に申請する予定

# 主な開発プロジェクトの進捗状況



LCM

- レミケード(効能追加、用法・用量変更)
  - 乾癬:承認(2010年1月)
  - 強直性脊椎炎:承認(2010年4月)
  - 潰瘍性大腸炎:申請中
  - クローン病用法用量:フェーズ3
- ラジカット(剤形追加)
  - 点滴静注バッグ製剤:承認(2010年1月)

海外導出

- FTY720 (多発性硬化症)
  - 米欧:ノバルティスファーマが申請中(2009年12月)
- TA-7284 (糖尿病)
  - 米欧:フェーズ3 (ジョンソン・エンド・ジョンソンが開発)

共同販売

- エシタロプラム (抗うつ薬)
  - 共同販売契約(2010年1月)
  - (持田製薬が開発:フェーズ3)





田辺三菱製薬株式会社

## <参考> 企業行動憲章



### 企業理念

医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します

### めざす姿

国際創薬企業として、社会から信頼される企業になります

### 企業行動憲章

私たちは、一人ひとりが高い倫理観を持ち、公正かつ誠実であることをすべてに優先し、つぎのとおり行動します

#### 使命感と誇り

医薬品の創製に携わる者としての使命感と誇りを持ち、求められる医薬品の研究開発と製品の安全性・品質の確保に力を尽くします

#### 挑戦と革新

鋭敏な感性と広い視野で進むべき方向性を見据え、より高い目標に果敢に挑戦し、革新的な価値を創出します

#### 信頼と協奏

自由闊達なコミュニケーションを通じて互いを理解・尊重し、深い信頼関係のもとで力を合わせ、成果の最大化を図ります

#### 社会との共生

地域社会や地球環境に配慮した活動を通じ、社会との共生を図ります

## **注意事項**

**本資料に記載した一切の記述内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。**